

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者

住所 東京都荒川区荒川2-2-3
氏名 荒川区長 滝口 学

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章1(1)①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名	峡田小学童クラブ							
2	学童クラブの所在地	郵便番号	116-0002	住所	東京都荒川区荒川3-77-1 峡田小学校内				
3	設置・運営形態	公 設 民 営							
4	設置主体	名称	荒川区						
		住所	郵便番号	116-8501	住所	荒川区荒川2-2-3			
		代表者	荒川区長 滝口 学						
5	運営主体	名称	株式会社パソナフォスター						
		住所	郵便番号	107-0052	住所	東京都港区南青山3-1-30			
		代表者	代表取締役 長畑 久美子						
6	学童クラブ事業開始年月	令和	8	年	4	月			
7	認証学童クラブ事業開始年月	令和	8	年	4	月			
8	支援単位(※1)との状況	峡田小学童クラブA	専用区画面積	(郵便名)	74.51	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)	2.48	m ²
			児童数	30名					
			職員体制	放課後児童支援員(常勤)	2	名	放課後児童支援員(非常勤)	1	名
			補助員(常勤)	1	名	補助員(非常勤)	1	名	
9	開所時間	平日	放課後から	19時	まで				
		土曜日・長期休業期間	8時	から	19時	まで			
10	国庫補助の有無	有							
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無	有							
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無	有							
13	長期休業期間中の昼食提供	有	夏季休業期間	29	日間提供	提供方法	その他(配送料のみ区負担、注文は保護者)		
		(42)	(夏季休業期間の全日数)						
		有	冬季休業期間	5	日間提供				
(13)	(冬季休業期間の全日数)								
有	春季休業期間	7	日間提供	提供方法	その他(配送料のみ区負担、注文は保護者)				
(8)	(春季休業期間の全日数)								
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有(別紙様式2のとおり)						
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有(別紙様式2のとおり)						
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無	有	令和	10	年度	受審予定			
16	直接契約の有無(民設民営の場合のみ)								
17	利用料	月額	5,000	円					
		協議書提出有無(月額利用料14,000円を超過する場合)							

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、第1号様式乙に記載ください。

第1号様式乙

支援单位名称	支援単位ごとの状況						
峡田小学児童クラブ B	専用区画面積	(部屋名)	77.65	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		2.59 m ²
	児童数	30名					
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)		2	名	放課後児童支援員 (非常勤)	
補助員 (常勤)		1	名	補助員 (非常勤)		1名	
峡田小学児童クラブ C	専用区画面積	(部屋名)	85.71	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		2.86 m ²
	児童数	30名					
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)		1	名	放課後児童支援員 (非常勤)	
補助員 (常勤)		1	名	補助員 (非常勤)		1名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数	名					
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)			名	放課後児童支援員 (非常勤)	
補助員 (常勤)			名	補助員 (非常勤)		名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数	名					
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)			名	放課後児童支援員 (非常勤)	
補助員 (常勤)			名	補助員 (非常勤)		名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数	名					
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)			名	放課後児童支援員 (非常勤)	
補助員 (常勤)			名	補助員 (非常勤)		名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数	名					
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)			名	放課後児童支援員 (非常勤)	
補助員 (常勤)			名	補助員 (非常勤)		名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		m ²
	児童数	名					
	職員体制	放課後児童支援員 (常勤)			名	放課後児童支援員 (非常勤)	
補助員 (常勤)			名	補助員 (非常勤)		名	

活 動 内 容 の 詳 細

第 1 号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容	
子どもたちが自ら進んで参加したくなるような行事の企画や、時に主となって行事を考えられるよう子どもたちにリクエストを聞き、やりたい気持ちや意思を大切にします。また、定期的に子ども会議を開催し、意見や気持ちを表現できる場を整えることで過ごしやすい環境づくりを子どもたちと一緒に進めていきます。	

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数	具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎 日	鬼ごっこ・縄跳び・ボール遊びなど室内外でできる遊びを取り入れていきます。また、運動が苦手な子どもたちも参加したいと感じるような簡単に身体を動かすことができる遊具も取り入れるなど工夫をしていきます。 【室内で身体を動かす遊びの具体例】 ○風船バレー：体幹、全身の筋力、コミュニケーション能力など様々な力が鍛えられる ○フラフープ：体力、運動能力の向上。バランス力、集中力アップ ○卓球：反射神経、瞬発力、集中力、判断力を養う 【屋外でできる遊びの具体例】 ○鬼ごっこ：走る、逃げる、タッチする動きで持久力と瞬発力を育む ○縄跳び：体幹やリズム感を鍛える ○ボール遊び：瞬発力、動体視力、コミュニケーション能力を養う
「製作活動等」	毎 日	毎月季節や行事に合わせた工作イベントを行います。工作イベントを行うことで、日本の四季を感じ、行事に興味・関心を持つことができるようになって考えております。また、イベント以外にも子どもたちが自由に工作ができるよう、廃材などを用意した環境づくりを行ってまいります。 《製作活動の効果》 【創造力の育成】自由な発想で形や色を表現 【集中力・持続力】完成まで取り組む経験 【協調性】共同制作で役割分担や協力を学ぶ 【季節感・行事理解】イベントに合わせた作品作りで文化を体験
「地域の文化等に触れる体験」	2 回	○夏の縁日やお祭りなど、地域の方にご協力をいただき、大人も子どもも楽しめる企画を運営していきます。 ○地域の方々にイベントを行ってもらうことで、子どもたちの住む地域の良さを感じてもらえるイベントを企画・運営していきます。
「自主学习」	毎 日	毎日30分程度（一日開室時には午前中に45分～60分程度）学習する時間を確保いたします。そうすることで、学習をする習慣をつけさせるとともに、児童が集中して学習に取り組む事ができると考えています。
「児童の意見を反映させた行事」	10 回	毎月、子どもたちから「やってみたい遊び」や「興味のあるテーマ」を聞き取り、そのリクエストをもとにイベントを企画します。また、大きな行事の前には「その行事をどのようなものにしたいか」について話し合う時間を設け、子どもたちのアイデア（出し物・飾り・ルールなど）を取り入れることで、より楽しみにできる行事づくりを行っていきます。 子ども会議で話し合った内容は職員間でも共有し、大人と子どもが同じ方向を向いて活動することで、互いに過ごしやすい環境づくりを目指します。

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	は い	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	は い
---------------------	-----	-------------------------	-----